



消防学校 ニュース



令和3年9月号

初任科第 92 期第2回野外訓練

活動方針 安全・確実・迅速

この訓練は、近い将来の発生が危惧されている『南海トラフ巨大地震』を想定して実施しました。消防職員として必要である強靱な体力・精神力を養成するとともに、消防の任務である大規模災害における要救助者の救出を目的として、学校での各種訓練及び校外での夜間強歩訓練を実施しました。当日の昼間は、学校において実践的応急はしご訓練、搬送訓練等を実施しました。その後、夜間から朝方にかけて、災害現場への歩行移動を想定し約 20 k g の装備を背負い、富士マリンプールから仮想大規模災害現場である学校までの約 30 k m を歩きました。学校到着後は、ブラインド型想定訓練を実施しました。

(担当教官コメント)

今回の訓練は、いかに大規模災害現場を想像して行動できるか、そして全員完歩を最大の任務として計画しました。災害現場に向かう夜間強歩訓練では、第2行程で早くも体調不良者が発生しましたが、全員踏破しました。災害現場到着後のブラインド型想定訓練では、疲れをものともせず、学校敷地内に居る全ての要救助者(訓練人形)の救出と搬送ができました。

学生にとって、長時間に亘る訓練で疲労困憊になりながらも最善を尽くし活動し、ひとりの脱落者もなく終了することができたことは、大きな自信に繋がったと思います。今後もこの気持ちを忘れずに消防活動することを期待します。

教務課主査 森下 善弘 (御前崎市消防本部から派遣)

初任科第92期 第2回野外訓練の概要

- 実施日時
令和3年8月5日(木) 9:00
～ 8月6日(金) 7:40
- 訓練内容・場所
第1部 消防学校訓練施設で各種訓練
第2部 夜間強歩訓練
(富士マリンプール～消防学校:約30km)
第3部 大規模災害現場でブラインド型想定訓練
- 日程表
5日(木)
6:15 起床
6:30 日朝点呼・早朝体育(資機材準備)
7:30 朝食
8:20 日直寮直交代
9:00 校長訓示・各種訓練開始
15:15 各種訓練終了 夕食・入浴
17:30 消防学校出発(バス)
18:30 富士マリンプール到着
19:00 夜間強歩訓練開始
6日(金)
5:05 帰校
6:00 ブラインド型想定訓練開始
7:40 訓練修了



第1部 活動イメージ「各種訓練」



応急手当訓練



搬送訓練



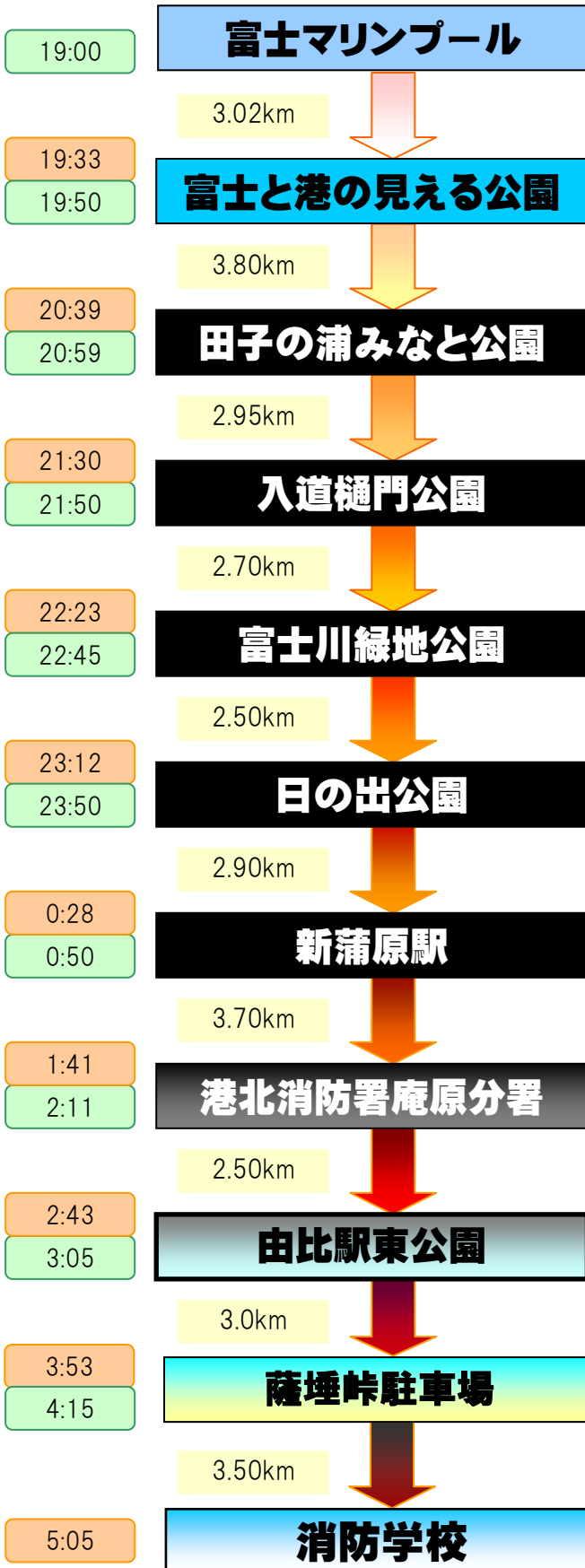
実践的応急はしご訓練

日中活動終了！！ さあ、しっかり食べて体力を回復させるぞ！



第2部 夜間強歩訓練

出発



出発前 整列



ひたすら歩く



休憩時間は仮眠です



ライトの灯りを頼りに



消防学校到着

到着

第3部 活動イメージ「ブラインド型想定訓練」



学生目標

実際に起こりうる大規模災害に対して救出活動に行くという覚悟を持ち、**全員**で任務を遂行する。



担当の森下教官

宮田教務課長訓示

野外訓練学生感想

【総代】

今後は、自分が仲間の辛い時に声をかけ、力を与えられるような人間になります。第1回野外訓練で出来なかったことが第2回野外訓練で出来るこの成長は、反省、対策そして目標とそれを達成する強い意志によってできたと思います。これからも反省と対策そして実行を繰り返し成長していきます。

【A学生】

最後には、数箇所の靴づれができてしまった。しかし、第1回野外訓練の時よりひどくなく、足をひきずることもなかった。対策のおかげもちろんあるが、一番違うのは意識だと思う。第1回は完歩するという意識しかなかったが、今回は、その先で活動する・要救助者がまっている・学校に到着してからが本番という意識で集中力を保ちながら歩いたので、痛みをそこまで感じなかったのだと思う。

【B学生】

満足のいく結果だと思いますが、これは初任科のカリキュラムの一環であり、ここがゴールではありません。私が目指すのは、現場で一人でも多くの傷病者、被災者を助けることにあります。これが終わったからといって、気を緩めることなく残りの初任科での生活が充実したものになるようにしていきたいです。

第2回初任科体力測定

～体力気力の練成～



握力



立位体前屈



上体起こし



反復横跳び



1,500m 走



立三段跳び



懸垂



100m 走



274.3m 走

第1回体力測定を実施したのが、初任科生の入校後間もない4月。

積み重ねた訓練の成果、自己鍛錬の結果を確認する第2回体力測定を8月19日と26日の2日間で実施しました。

初任科生にとって、真夏という悪条件でしたが、消防が必要とされる時は、悪条件が付き物です。そんな中で、課外時間や休日に体力錬成に努めた者は、しっかりとその成果が表れた結果になっています。

※他に興津川沿いを走る4km走を実施

太田校長のちょっといい話

初任科第92期

がんばれ



この原稿が発行される時には、初任科生達は、修了式も終え、各所属に配属されていることから、第92期生へのエールとなる言葉を選ぼうと考え、漫画やアニメの中の台詞から題材を選びました。

昔のアニメや特撮も今では、パソコンやスマートフォンで簡単に見る事が出来るようになりましたが、ウルトラマンやウルトラセブンなどは、社会問題を題材にしたものも多く、懐かしいだけでなくいろいろと考えさせられます。(コロナ禍で外出もままならず、休みの日にいろいろ見返してました。)

また、シン・ゴジラなどは、リメイクとかオマージュとは違う、大人のための映画となっていて、娯楽以上に学ぶべきことも多数あると思われた方も多かったのではないのでしょうか。

さて、一つ目は「**あんたまだ生きてるんでしょう。だったらしっかり生きて、それから死になさい**」新世紀エヴァンゲリオンで、葛城ミサトが戦略自衛隊の攻撃により絶命する前に、もう死にたいと言っている碇シンジへかける言葉です。

エヴァンゲリオンは、庵野秀明監督による独特かつ難解な世界観と強烈な個性を持つキャラクター(使徒を含め)設定などから、多くのファンがいる作品ですが、聖書等の西洋的思考と汎用人型決戦兵器など漢字を多用した日本的思考との交錯、様々な映画・特撮・アニメのオマージュなど何回見ても新しい発見があります。

二つ目は「**立って歩け、前へ進め、あなたには立派な足がついているじゃないか**」鋼の錬金術師の主人公 エドワード・エルリックの言葉です。

今年、東京パラリンピックが開催され、今まであまり見る機会がなかった様々なパラスポーツを見る事が出来ましたが、オリンピックはどうしても記録や順位を中心に競技を見ていたのに対し、パラリンピックでは記録よりもハンディキャップを克服し、競技に向き合っている選手達の姿を見ることにより、個人的にはオリンピックよりも大きな感動を得ることが出来ました。

新世紀エヴァンゲリオン、鋼の錬金術師両方の作品に共通するのが、生命が主要テーマになっていることです。単純に命は大切というものではなく、命とは何かという哲学的な要素が含まれています。

エヴァンゲリオンの方は、やや逆説的な言い方になっていますが、どちらの言葉も原作を知らなくても十分意味が伝わると思います。



実科査閲での一斉放水

初任科第92期生へのエールの言葉としては、少し重たい言葉を選んでしまいました。消防という職業を選んだからには、命というものに直面しなければならない場面もあると思いますし、自分の講義でも、命と時間は決して戻ることがないから貴重なものであり、大切にしなければならないことを話してきましたので、この二つの作品の台詞から選ぶこととしました。

初任科は、消防士としてのスタートを切る前のウォーミングアップであり、これからが本番です。消防学校で学んだこと体験したことを胸に、前に進んで行ってください。



編集・発行/ 静岡県消防学校 〒424-0211 静岡市清水区谷津町 1-577-1
☎ 054-369-1190 FAX: 054-369-1197

★「消防学校ニュース」は静岡県ホームページの消防学校の案内・紹介のところに掲載しています。過去の分を含め、どうぞ御覧ください。

静岡県消防学校

検索

